

森美術館

「カタストロフと美術のちから展」同時開催プログラムのご案内

会期：2018年10月6日(土)－2019年1月20日(日) 会場：森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)



MAMコレクションは、森美術館の収蔵品を、
多様なテーマに沿って順次紹介する展覧会シリーズです。

MAMコレクション008:会田 誠とChim↑Pomのカラス

企画：熊倉晴子(森美術館アシスタント・キュレーター)

カラスは、吉兆を示す鳥あるいは太陽の象徴として世界中の多くの神話に登場する一方、腐肉食や黒い羽毛が死を連想させることから、悪や不吉の象徴としても繰り返し描かれてきました。独自の視点、手法を用いて社会的、政治的な問題に切り込んでゆくことで知られる会田誠、Chim↑Pomの両アーティストが、この極端な両義性を持つカラスという鳥をモチーフに、現代社会の多様な側面を映し出します。



会田 誠
《電信柱、カラス、その他》2012-2013年
六曲一隻/アクリル絵具、キャンバス、パネル
360 × 1020 cm
展示風景：「会田誠展：天才でごめんなさい」森美術館(東京)2012-2013年
撮影：渡邊 修



MAMスクリーンは、世界の多様な映像作品のなかから
選りすぐりのシングル・チャンネル作品を上映するプログラムです。

MAMスクリーン009:シュウ・ジャウエイ(許家維)

企画：片岡真実(森美術館チーフ・キュレーター)

シュウ・ジャウエイ(許家維、1983年、台中生まれ)は、各地の政治的、社会的な歴史を多角的にリサーチし、歴史と記憶、過去と現在などの狭間にある無意識を視覚化してきました。本展では、東アジア地域の政治の狭間で翻弄された男の個人史や、台湾における日本統治時代の歴史に光を当てることで、正史とされる歴史からは読み取ることのできない、この地域の歴史のダイナミズムを浮き彫りにします。ヒューゴ・ボス・アジア・アート賞ファイナリスト(2013年)。第15回台新芸術賞グランプリ受賞(2017年)。



シュウ・ジャウエイ
《高砂》
2017年
ビデオ
9分35秒



MAMリサーチは、アジアの現代美術を中心に特定の作家や動向に着目し、
歴史的、社会的な文脈とともに考える資料展示です。

MAMリサーチ006:クロニクル京都1990sーダイアモンズ・アー・フォーエバー、
アートスケープ、そして私は誰かと踊る

企画：椿玲子(森美術館キュレーター)、

石谷治寛(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員)

協力：京都市立芸術大学芸術資源研究センター、

佐藤知久(京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授)

1990年代の京都では、ダムタイプなど京都市立芸術大学出身者の周辺で、現代美術、ドラッグクィーン・パーティ、エイズやLGBTの啓発活動まで、さまざまな表現と活動が重なり合うように活発化していました。それは京都の、主に左京区において、コミュニティーの中から内発的に生まれたユートピア志向の実験でした。さまざまな人権が重要視されるようになった現代において、本展は、社会の閉塞感を突破するヒントとなるでしょう。



「ダイアモンズ・アー・フォーエバー」
メトロ(京都)
1990年代初頭

主催：森美術館 開館時間：10:00-22:00 | 火 10:00-17:00 *いずれも入館は閉館時間の30分前まで *会期中無休

入館料：「カタストロフと美術のちから展」チケットで鑑賞可 一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、

子供(4歳-中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円 *表示料金に消費税込

*本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く) *スカイデッキへは別途料金がかかります

一般のお問い合わせ：Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

プレスリリース

お問い合わせ

森美術館 広報事務局(共同ピーアール内) 担当：津原、田ヶ谷、村田

Tel: 03-3571-5258 Fax: 03-3574-0316 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル